

【単元のねらい】

メダカを飼育し、メダカの食べ物を調べる活動を通して、メダカの生態について追究する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、自然界において魚が生活する環境についての見方や考え方をもちつことができるようにする。

【番組利用にあたって】

本番組では、自然界ではメダカは何を食べているのかという問題意識をもたせ、池や川の水を調べる活動へとつながるように構成されている。微生物を初めて観察する児童は、ゴミと微生物の区別が困難なので、番組や教科書で紹介された微生物を参考に観察するとよい。また、教科書に掲載されている微生物をすべて観察することは困難なので、番組だけでなくビデオクリップなども活用して、池の中には多様な生物がいることや、生物間には食べる・食べられるという連鎖的な関係があることにも気付かせるようにする。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次時	学習活動	教師の支援
第3次 水の中の小さな生物	○誕生した子メダカの観察記録を日付順に並べて、変化の様子を話し合う。 ・生まれたばかりはお腹が大きい。 ・最初は餌も食べない。 ・3日ぐらいたら餌を食べた。 ◆「魚が育つには」番組視聴(10分) ○池などにいるメダカは何を食べているのか予想する。	◇子メダカの観察記録などを日付順に並べることで、子メダカの腹は最初は大きくて、徐々に小さくなっていくことに気付かせ、メダカの栄養の取り方に関心をもたせるようにする。 ◇観察記録がない場合は、サケの稚魚の様子をビデオクリップで確認させる。 ■サケの卵の変化
	池にいるメダカなどの魚は、何を食べているのだろうか。	
11 12	○池や川の水を採取し、中にある生物の様子を観察する。 ・微生物の採取方法を知る。 ・顕微鏡等の使い方を知る。 ・水の中にある微生物を発見したら、その姿を記録し、図鑑等で調べる。 ○採取した微生物を飼育しているメダカに与えて、食べる様子を観察する。 ・メダカが寄ってきた。 ・メダカが微生物を食べた。 ・これが餌になっているんだ。 ○観察記録や映像を基に、わかったことについて話し合う。	◇自宅周辺の池や田の水を持参したり、学校の池などの水を採取し、中にある微生物を顕微鏡等で観察させる。 ◇水の採取に際しては、危険のない方法を事前に十分指導しておく。 ◇プランクトンネットの使い方や顕微鏡、解剖顕微鏡等の使い方も指導する。 ◇番組のクリップを利用して、観察できなかったプランクトンの様子などについて調べるようにさせる。 ■小さな魚の食べ物 ■田んぼに住む微生物 ■ミジンコの食べ物 ◇観察記録や映像などを参考にして、自然界の関係について簡単に解説する。 ■食べたり食べられたり ■プランクトンがつくる酸素
メダカは、池の中の小さな生き物を食べて生きている。		